

【ヒットルアー】

| | | |
|------------------|------------------|----|
| ・プチモカSR(SS) | ミルクココア | 7尾 |
| ・プチモカSR(SS) | ミドピーノ | 4尾 |
| ・プチモカSR(SS) | F.S01(TRG)黄・オレンジ | 2尾 |
| ・プチモカSR(SS) | イルージョンペレット | 2尾 |
| ・ファクター | 0.9g かみつけペレット | 4尾 |
| ・ファクター | 0.9g マロン | 4尾 |
| ・ファクター | 1.2g かみつけペレット | 1尾 |
| ・ファクター | 1.8g マロン | 3尾 |
| ・ペンタ | 1.0g 薄茶 | 3尾 |
| ・マーシャルトーナメント0.9g | ブラウン(青ラメ入り) | 3尾 |
| ・マメしずくBB | 薄茶 | 4尾 |
| ・マメしずくBB | 緑 | 1尾 |
| ・マメしずくST | 薄茶 | 1尾 |
| ・マメしずくST | 蛍光グリーン・蛍光ピンク | 1尾 |
| ・モカDR(SS) | サチオノチャ | 1尾 |
| ・ピコチャタクラDR-SSS | ミドピーノ | 1尾 |

プチモカSR(SS)
ミルクココア



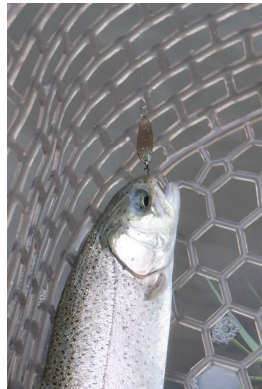
ペンタ
薄茶



プチモカSR(SS)
ミドピーノ



マーシャルトーナメント
ブラウン(青ラメ入り)



ファクター
かみつけペレット



ピコチャタクラDR-SSS
ミドピーノ



ファクター
マロン



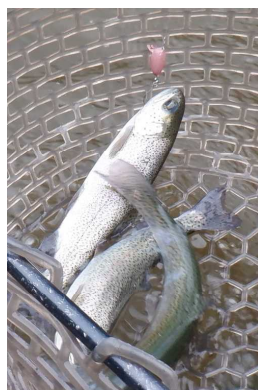
マメしずくBB
薄茶



マメしずくBB
緑



マメしずくST
薄茶



マメしずくST
蛍光グリーン・蛍光ピンク



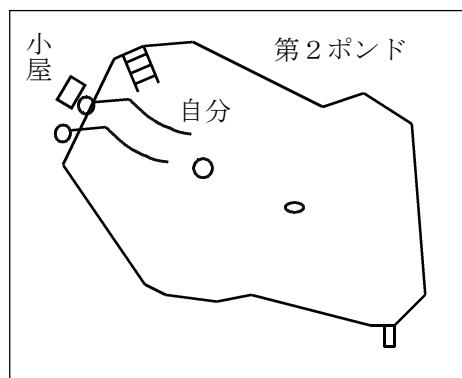
釣れたマスを起きかきつけてきたマスがネットイン

<ツレ>よく釣れたルアー

- ・マメしずくBB薄茶 13尾
- ・モカDR(SS)ミドピーノ 10尾
- ・Pellet Pellet SS サンクスオリカラ 10尾
- ・トルネード 赤・オレンジ 6尾

【様子】

- 料金 半日午後 男性 ¥3,500 女性 ¥3,000
- 火曜日は放流なし。餌撒きなし。
- 晴れ、風はあり。水は濁っている。



- 12時15分スタート。
- お客さんは少ない。小屋前に入った。小屋前によく釣れるところである。ここは午後4時頃から表層でマスが集まってくる。今日は午後2時30分に表層でマスが集まっているところが見られた。
- ライズは少しあるが、表層にマスが見られない。
- ツレはスタートからモカDR(SS)ミドピーノで盛んに釣っている。自分も他の色のモカDR(SS)でゆっくり巻く。ときどき当たりがあるが、釣れない。やっと1尾取った。ミドピーノが良いのかと考え、ピコチャクラDR-SS ミドピーノを試した。1尾取ったが続かない。
- 今日、試したいことをいろいろ試してみた。しかし、上手いかなかった。
- 午後2時少し前から釣れるようになった。
- 午後2時30分ごろ、表層でマスが集まっている様子が見られた。いつもなら午後4時頃に見られる現象である。たくさん釣れる予感があった。
- 表層をプチモカSR(SS)とスプーンをローテーションしながら、たくさん釣った。カラーはプチモカもスプー

ンも茶系・薄茶系が良かった。

○まだまだ釣れ続く様子であったが、寒くなってきたので、30分繰り上げて午後4時30分に納竿とした。

【今日、やってみたかったことと、その結果】

①モカDR(SS)でゆっくり巻き、当たったところの巻き数を調べる。当たったところの巻き数に応じて、早巻きして沈め、そこからゆっくり巻く。

→ やる気のあるマスがどこにいるかを調べる。不要な表層を早く沈める。

○ツレがミドピーノを使っているの、自分は別の色で試した。ときどき当たりがある。ゆっくり巻いて来るときに当たった巻き数はその都度、違っており、一定しているとは思えない。

○ゆっくり巻いた時に当たった巻き数に合わせて、速く巻き沈め、その後、ゆっくり巻いたがダメ。これで当たったことはなかった。

○ミドピーノが良いのかと思い、ピコチャクラDR-SSS ミドピーノでも試すが1尾のみで後が続かない。

○一番早く4巻き目だったので、モカSR(SS)ミドピーノをカウントで沈めてから行ったが、ダメだった。

○ツレがモカDR(SS)ミドピーノをゆっくり巻いて頻繁に釣っている。(巻きスピードはモカSRと同じ速さ)

○やり終えての結論としては、

表層付近はプチモカSR(SS)で、

表層よりやや深いときはモカSR(SS)で、

更に深いときはモカDR(SS)で行う。

当然と言えば、当然のことである。

○モカSR(SS)とモカDR(SS)では泳ぎが違うので、表層やや深いときもモカDR(SS)を使ってみる。この時は初めからゆっくりリトリブする。

○今日はマスが上ずっていたから、①のようなことができなかったのかもしれない。深い第1ポンドでやってみると良いかもしれない。

②スプーンでの巻き下げ

→ モカ・プチモカのスローシンキングをゆっくり巻いて釣っている。プラグはゆっくり巻かれながら沈んでいく。これは巻き下げである。スプーンでも同様にすれば釣れるはずである。

○プチモカ(SS)もモカ(SS)も巻きを止めると、ラインがたるむ。しかし、スプーンの場合はテンションフォールとなってラインがたるむことがない。プチモカ(SS)・モカ(SS)と同じようなイメージで釣れないことが分かった。

③ボトムへの釣りにおけるリフト&フォールでリフトの高さを変える。

→ やる気のあるマスがベタ底にいないとき、リフトの高さを高くしてマスにアピールして釣る。

○「マメしずくBB」で試した。風が強くて着底が分からない。少し試したが、あきらめた。

④午後4時ごろからマスが表層に集まっているような高活性時

・マメしずくBB薄茶、ペンタ1.3g薄茶を使ってジャークする。

・マイクロクラッピー、デカミッツでリトリブする。

○午後2時30分ごろからマスが表層に集まっている状況が見られた。

○今日はマメしずくBBでのジャークはダメだった。スプーンでも同様。

○マメしずくBBでのジャークと同じ速さでスプーンをジャークすると、スプーンがクルクル回ってしまい、これでは釣れない。

○デカミッツのリトリブはダメだった。マイクロクラッピーは試さなかった。

○結果として、スプーンで表層をリトリブするのが一番良かった。

- ⑤釣れない時間帯が続くようなら、パイロットルアーを使って、やる気のあるマスの場所を探す。
- 表層にマスが集まっていることから、時間帯を変えて①～③を何度もやるということをしなかった。
 - 釣れないと感じたら、次の一手を行ったので、釣果が伸びたのだと考える。

【自作ルアー しずく】

- 「しずく」では釣果が上がらない。「マメしずく」の方が良い。
- 表層にマスが集まっているときは、リップは無い方がよい。
- マメしずくST蛍光グリーン・蛍光ピンクで良い当たりが出た。これにはリップがついている。しかしリップが壊れてしまい、続けることができなかった。良い当たりであったことから、この色は期待できる。マメしずくSTの開発を続けよう。
- 表層にマスが集まってきている時や餌撒き時によく釣れるのは、「マメしずくBB薄茶」であり、ボトムの釣りには「マメしずくBB桃」である。
- 「しずくSS」より先に「マメしずくSS」の開発を先に進めよう。

【振り返り】

- 釣れないと感じたら次の一手を打っていった。これで釣果が上がった。
- 長く釣れない時間帯は、午後2時までに26分間、43分間、と2回あった。今日やりたいことを試していたのでやむを得ないと考える。(釣り上げるごとに写真を撮った。)
- マスの活性に合わせて、今日やりたいことを今後も続けていく。
- 表層ではプチモカSR(SS)よりもスプーンの方が釣れるときがある。モカ・プチモカとスプーンのローテーションを意識する。
- 表層やや下でモカSR(SS)で釣れないなら、モカDR(SS)を試す。